

こめっこ

Communicative Members, Kirari Kids of Osaka

コミュニケーションの芽をはぐくむ子どもたち

いっしょに手話で
あそぼう!はなそう!
たのしもう!



対象

きこえない・きこえにくい
未就学児とその家族
きこえないママ・パパと
未就学児

『こめっこ』は…

* 0歳～未就学のろう・難聴児が集まり、遊び
をとおして手話を獲得・習得する場です。

* 同じ仲間や先輩ろう者とかかわり、伝え合う
力をはぐくみます。

ことば

* 手話のあふれる場所で、子どもたちは楽しみ
ながらわかる体験をします。

* 手話がわからなくても、聴スタッフや通訳者
が日本語に訳します。

* ろう・難聴の未就学児とご家族、ろう親
ときこえる未就学児のご家族も参加できます。

* 保護者向けの手話学習会、ミニレクチャーや
交流会など、様々なプログラムがあります。

「大阪府こめっこプロジェクト」の一環として実施されています

この事業は聴覚障がい児手話言語獲得支援者の養成等の一環として実施するものです





さかい くによし
酒井 邦嘉 先生
東京大学
大学院総合文化研究科 教授

まわりに言葉があれば、赤ちゃんは自然と自分の言葉にしていきます。それは音声に限らず手話でも同じことです。そうした言葉は、考える力を育てていきます。聞こえが十分でなくとも、手話を使えば十分に考える力が身につきます。言葉があってはじめて、考えることができるからです。



たけい わたる
武居 渡 先生
金沢大学
人間社会研究域 学校教育系 教授

幼児期にわかる経験をしっかり積み上げることが、他者への信頼や様々なものへの興味だけでなく、そのあとの日本語や学力につながります。聞こえない子どもたちにとって、わかる経験を保障する上で、手話の力はとても大きいのです。こめっこの活動を通して、親子で楽しく手話を学んでみませんか。

こめっこに来ればちゃんとわかる体験ができる、伝わる友達がいる。だから、自分から行きたいと毎回楽しみにしています。

保護者のこたば

初めての参加なのに、親からすぐに離れて楽しく遊んだことに驚きました。わかるからなんですね。

スタッフ同士が会話する姿を見て、聞こえる子が普段している体験を同じようにできるのがいいな、と思います。



活動の内容はここから見られるよ！



かわさきよしこ
河崎 佳子

神戸大学教授

こめっこスーパーバイザー

遊びをとおして子どもたちは手話を自然に獲得し、見てわかる手話でさまざまな知識を吸収し、学び、人とかかわる力をはぐくみます。手話の獲得は日本語の習得にも活かされます。
めさせ、バイリンガルです！



<開催日時>

第1・3土曜日

午後2時00分～4時30分

※コロナの感染状況によって予定を変更する場合があります。

<お申込み・お問い合わせ先>

こめっこ参加希望の方は、ホームページお問い合わせフォームよりお申し込みください。

<https://www.comekko.com/>



電話・FAXでもお問い合わせください。



NPOこめっこ

特定非営利活動法人 手話言語獲得習得支援研究機構

TEL : 06-6748-0084

FAX : 06-6748-0089

<会場>

大阪府立福祉情報コミュニケーションセンター
3階「こめっこルーム」



〒537-0025 大阪府大阪市東成区中道1丁目3番59号

駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用ください